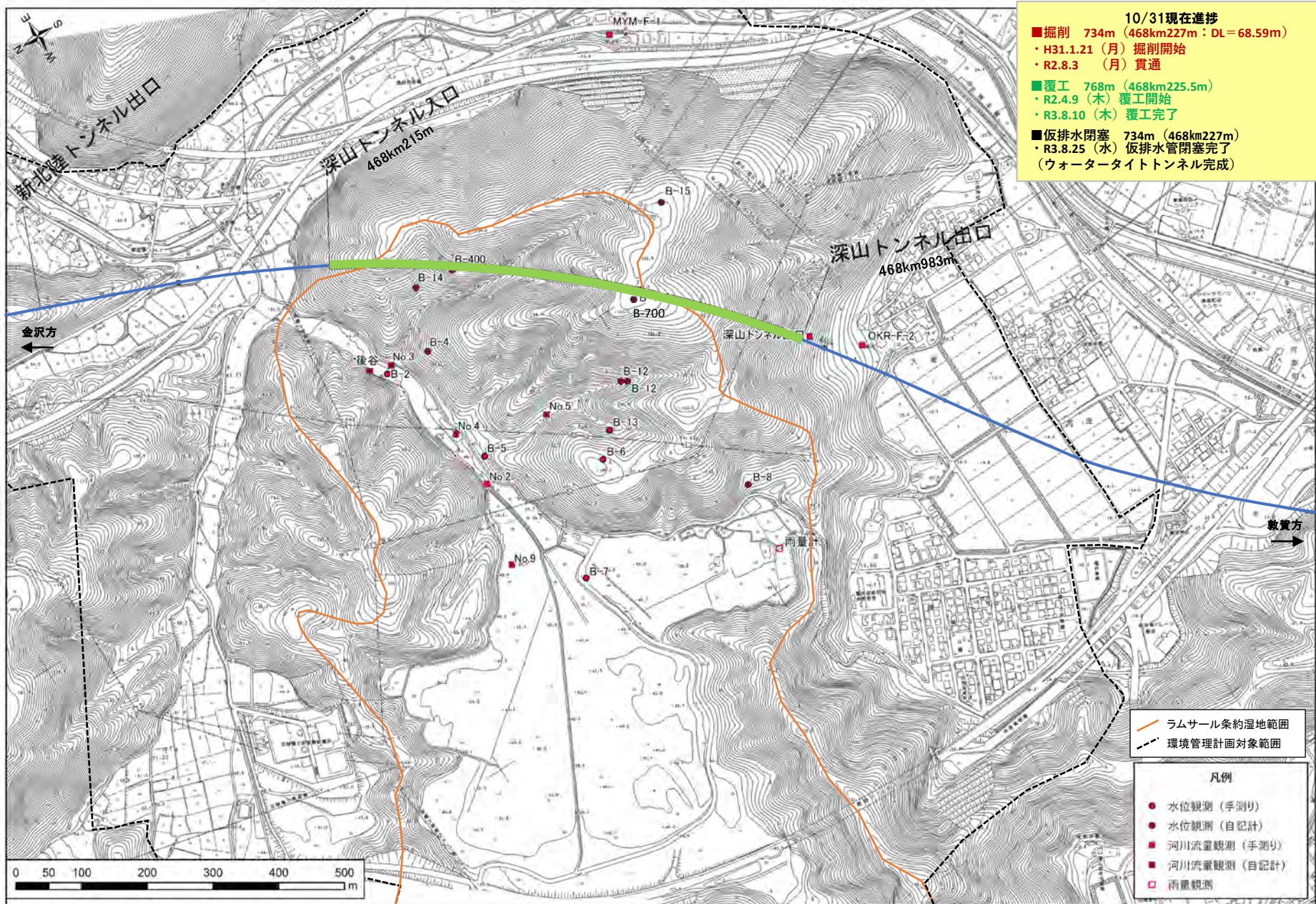


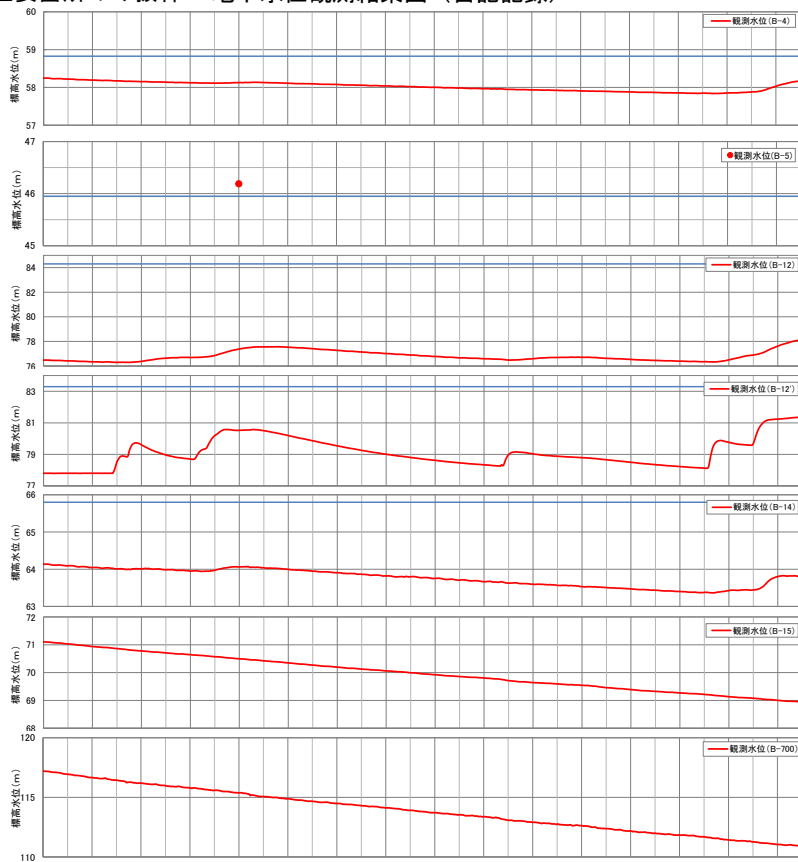
深山トンネル水文調査モニタリング報告書

調査期間：令和6年10月1日（火）～令和6年10月31日（木）

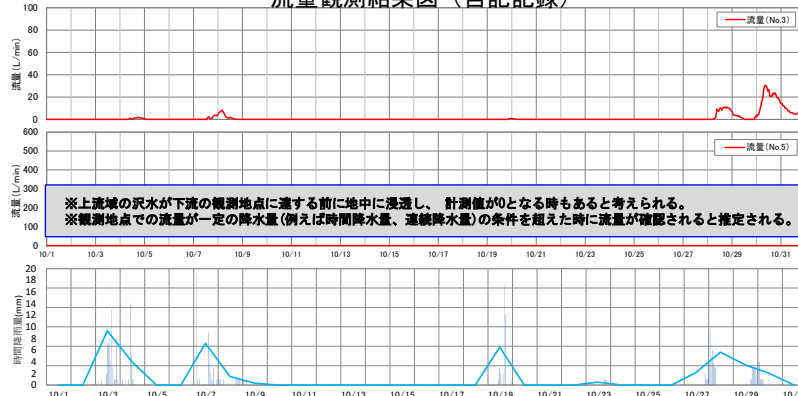
「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。



※主要箇所のみ抜粋 地下水位観測結果図（自記記録）



流量観測結果図（自記記録）



※上流域の沢水が下流の観測地点に達する前に地中に浸透し、計測値が0となる時もあると考えられる。
※観測地点での流量が一定の降水量(例えば時間降水量、連続降水量)の条件を超えた時に流量が確認されると推定される。

B-4 地下水位
過年度最低水位
58.8m

B-5 地下水位
過年度最低水位
46.0m

B-12 地下水位
過年度最低水位
84.3m

B-12' 地下水位
過年度最低水位
83.3m

B-14 地下水位
過年度最低水位
65.8m

B-15 地下水位

B-700 地下水位

No.3 流量

No.5 流量

全体総括

■目立った変動なし □やや変動あり
□変動あり（注意体制への移行を検討）

期間中の地下水位低下量

■1m未満ないし増加：B-700、B-15以外
□2m未満：
■5m未満：B-15 ■5m以上：B-700

日降水量

□15mm未満 ■15mm以上（6日） ■50mm以上（1日）

月降水量

□80mm未満 □80mm以上 □130mm以上 ■200mm以上

概要

■水位変動について

- ①目立った変動なし。
- ② B-4（自記水位計）：水位低下が継続していたが、期間中の降雨により10/29から増加に転じている。過年度最低水位を下回っている。
- ③ B-5（手計り）：水位変動はほぼ一定のため、本年から手計りに移行した。期間中の降雨により、水位は増加に転じている。過年度最低水位を上回っている。
- ④ B-12（自記水位計）：期間中の降雨に反応を示す。過年度最低水位を下回っている状態が続くため、今後も注視していく。
- ⑤ B-12'（自記水位計）：期間中の降雨に明瞭に反応する。過年度最低水位を下回っている状態が続くため、今後も注視していく。
- ⑥ B-14（自記水位計）：なだらかな水位低下が継続しており、期間中の降雨に反応を示す。過年度最低水位を下回る。
- ⑦ B-15（自記水位計）：水位低下が継続しており、期間中の降雨に反応を示さない。
- ⑧ B-700（自記水位計）：水位低下が継続しており、期間中の降雨に反応を示さない。

■流量変動について

- ①No.3（自記）：流量は期間中の降雨後に増加する。10/29の降雨後は顕著に増加している。
- ②No.5（自記）：期間中は0L/minの状態が続く。
⇒少雨や大雨の数日後の状況として、当該上流域の沢水が下流の観測地点に達する前に地中に浸透することにより流量の計測値がゼロとなっている状況がある。
⇒観測地点での流量が一定の降水量(例えば時間降水量、連続降水量)の条件を超えた時に流量が確認されると推定される。

■降水量について

- ① 9月の日最大降水量：9/22の27.0mmである。
⇒ 10月の日最大降水量：10/3の56.0mmである。
- ② 9月の降水量：61.0mm、10月の降水量：256.0mmである。
昨年9月は159.0mm、10月は170.5mmである。
平年値（敦賀アメダス）は9月は204.9mm、10月は152.6mmである。